

# 豊岡高校基本計画

平成22年12月

埼玉県教育委員会

# 目 次

1	県教育委員会の基本姿勢	1
2	新校の基本的枠組み	
	(1) 新校の設置など	
	(2) 設置場所	
	(3) 課程・学科など	
	(4) 学校規模	
	(5) 開校予定年度など	
3	新校の校名	
4	新校の基本理念	2
	(1) 目指す学校像	
	(2) 育てたい生徒像	
5	新校の教育活動などの基本方針	
	(1) 基本姿勢	
	(2) 教科指導	
	(3) 生徒指導	
	(4) 進路指導	
	(5) 生徒募集	3
6	教育活動などの基本方針の具現化	
	(1) 教科指導	
	(2) 生徒指導	
	(3) 進路指導	
	(4) 生徒募集	
7	開校準備	4
	(1) 施設・設備の整備など	
	(2) 公文書などの保管及び諸証明書の発行	
	(3) 生徒募集及び入学者選抜	
	(4) 制服など	
8	対象校における教育活動	
9	新校の教育環境の整備	
10	付随する事項	
	(1) 跡地の利活用	
	(2) 同窓会及び後援会	
	(3) 対象校が保管する物品などの保存	
〔参考資料〕		
資料1	新校準備委員会設置要綱（委員名簿を含む。）	5
資料2	新校基本計画検討委員会設置要綱（委員名簿を含む。）	8
資料3	豊岡高校準備委員会及び豊岡高校基本計画検討委員会の開催状況	11
資料4	豊岡高校準備委員会でのいただいた主な意見等	13

県立高等学校の後期再編整備計画（以下「計画」という。）に基づき、次のとおり、新たな高校を設置する。

## 1 県教育委員会の基本姿勢

新校基本計画の策定に当たっては、教育局及び対象校の教職員により構成する基本計画検討委員会において検討するとともに、地元関係者や学校関係者の御協力を得て、新校準備委員会を設置し、様々な観点から御意見などをいただいた。

県教育委員会は、いただいた御意見や、対象校が統合に至った事実を重く受け止め、次のとおり、県立高校の再編整備に取り組む。

- (1) 県立高校の再編整備は、中学校卒業生が減少する中で、県立高校の活性化・特色化を図る教育行政上の重要施策であり、新校の設置に当たっては、教育環境の整備に重点的に取り組む。
- (2) 校長は、新校が組織としての機能を十分に発揮するよう、主導的に学校の管理・運営に取り組む。
- (3) 新校の管理・運営に当たっては、校長をはじめとする教職員の意識改革が求められている。教職員は、経営感覚をもって、生徒や保護者のニーズを的確に把握し、積極的に教育活動を展開するとともに、新校の活動を地域に公開していく。

## 2 新校の基本的枠組み

- (1) 新校の設置など  
豊岡高校と入間高校（以下「対象校」という。）を統合し、新たな高校を設置する。
- (2) 設置場所  
入間市豊岡1丁目15番1号（現 豊岡高校）に設置する。
- (3) 課程・学科など  
全日制課程の普通科とし、単位制を導入する。
- (4) 学校規模  
各年次320人、合計960人の規模とする。
- (5) 開校予定年度など  
平成25年度とする。  
入間高校は平成23年度から生徒募集を停止する。

## 3 新校の校名

新校が同一市町村内の統合で、かつ課程・学科に変更がないことから、設置校である豊岡高校の名称を継承する。

#### 4 新校の基本理念

計画に定める再編整備の方針などを踏まえ、次のとおりとする。

##### (1) 目指す学校像

ア 生徒一人一人の希望する大学への進学を実現し、生徒・保護者の信頼に応える学校

イ 生徒の個性と社会性を伸ばし、社会の発展に貢献する人材を育成する学校

ウ 大学・研究機関との連携を深めるとともに、教育力を地域に還元できる開かれた学校

##### (2) 育てたい生徒像

ア 志を持って、自分の知識・技能を意欲的に伸ばし、積極的に課題解決に取り組む生徒

イ 心身共にたくましく、真理を探究し、使命感を持って自己を開拓する生徒

ウ 社会性・協調性を備え、地域のリーダーとなる生徒

#### 5 新校の教育活動などの基本方針

新校の基本理念に基づき、次のとおり、教育活動などの基本方針を定める。

##### (1) 基本姿勢

生徒一人一人の大学進学希望に応じた丁寧な指導を行い、学力を向上させ、地域社会や国際社会に貢献できる豊かな人間性をはぐくむ。

##### (2) 教科指導

ア 社会の変化に主体的に対応する知識と行動力を身に付けるために、基礎的な学力とともに応用力や発展的な学力を身に付けさせる。

イ 大学進学実績の向上を目指して、授業形態、指導方法、指導内容の工夫改善を行う。

ウ 理数教育と外国語教育の充実や高大連携の推進により、学習意欲を喚起する。

##### (3) 生徒指導

ア 基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせ、自律的に行動できる態度を育成する。

イ 生徒理解に基づき、個に応じた適切な指導が可能となる教育相談体制を充実させる。

ウ 奉仕的精神を涵養するとともに、他者を思いやり、主体的に行動できる態度を育成する。

##### (4) 進路指導

ア 生徒の能力、適性に応じた大学進学を実現させるため、きめ細かい指導ができる進路指導体制を整備する。

イ キャリア教育を推進し、組織的・計画的な進路指導を行うことにより、生徒が自らの在り方・生き方を考えられるよう支援する。

(5) 生徒募集

ア 新しい豊岡高校が、単位制を導入した進学校として、地域の期待に応じていくことを強調する。

イ 地元の中学校の教員、生徒・保護者が新しい学校に関する理解を深められるよう、積極的に情報を発信する。

6 教育活動などの基本方針の具現化

教育活動などの基本方針に基づき、今後、次のとおり検討する。

(1) 教科指導

ア 単位制の特長を生かし、能力・適性、興味・関心、進路希望などに応じた多様な選択科目を設置し、学力向上を目指す。

イ 教科指導に関わる情報を共有化するとともに、生徒の実態に応じて習熟度別授業や少人数指導を実施する。進学に必要な学力をつける学習量を確保し、生徒の学力向上を目指す。

ウ 理科・数学教育の充実に向け、大学や研究機関などとの連携を図り、科学の魅力に触れ、学ぶ意欲や向上心を高める。

エ 英語によるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高めるための教育活動を展開したり、積極的に検定試験などに挑戦させたりする。

(2) 生徒指導

ア あいさつの励行、身だしなみの徹底、美化活動への取組など厳しくも温かい指導をとおして、授業に真剣に取り組む姿勢や社会人としての基礎的な力を身に付けさせる。

イ すべての教職員がカウンセリングマインドを身に付け、共感的な立場で生徒を支援できるよう、研修を推進するとともに、組織的な対応ができる体制を整える。

ウ 社会体験、地域活動、ボランティア活動などに積極的に参加し、社会性や協調性を養う。

エ 学校行事、生徒会活動、部活動などの活性化を支援し、学校生活における様々な場面で、主体的に社会のリーダーとなれる素養を身に付けさせる。

(3) 進路指導

ア 進路指導部を中心に分掌と教科・担任団との連携を強化して、3年間をとおして、一人一人の生徒の可能性を伸長させる指導をする。

イ 入学直後からのオリエンテーションで、科目選択や進路選択に関わる指導を充実させ、早期に生徒の進路意識を喚起する。

ウ 大学や地域の人材を活用するなど、3年間を見とおしたキャリアガイダンスを行う。

(4) 生徒募集

ア 年間を通じた中学校訪問、体験授業や学校説明会などにより、大学進学に向けた単位制のシステムの理解を浸透させる。

イ ホームページの逐次更新、学校通信の配布や小学校・中学校との交流などを積極的に行う。

## 7 開校準備

### (1) 施設・設備の整備など

豊岡高校の施設・設備の有効活用を基本に、必要な改修や整備に努める。整備期間は平成24年度から平成26年度までを目途とする。

対象校の備品などについては、原則として、新校に引き継ぐものとし、保管転換の事務や移動作業、配置などについては、対象校が協力して行う。

### (2) 公文書などの保管及び諸証明書の発行

対象校が保管する公文書などについては、新校が引き継ぐ。統合後の各種証明書の発行は新校が行う。

### (3) 生徒募集及び入学者選抜

生徒募集活動や入学者選抜の事務は、豊岡高校が中心となり、入間高校が全面的に協力して行う。

### (4) 制服など

制服などについては、今後、新校の準備を進める中で検討する。

## 8 対象校における教育活動

対象校においては、生徒募集の停止後においても、在校生に教育上の支障が生じることがないように、また、不利益が及ぶことがないように配慮する。

## 9 新校の教育環境の整備

県立高校の再編整備を積極的に推進する見地から、新校の教育環境の整備に努める。教職員などの人事や定数、教育課程の編成、単位の認定などについては、現行制度に照らしつつ、再編整備に伴う活性化・特色化を進める方向で前向きに検討し、また、施設・設備の整備については、必要な予算の確保に努める。

## 10 付随する事項

### (1) 跡地の利活用

入間高校の設置や管理運営に当たっては、入間市など関係者に多大な御協力をいただいていた。県教育委員会においては、これらの経緯を踏まえ、今後の利活用を検討する。

### (2) 同窓会及び後援会

今後、対象校の同窓会及び後援会で検討する。

### (3) 対象校が保管する物品などの保存

対象校が保管する校旗や卒業記念品、記念誌などの取扱いについては、今後、関係者の意見を伺いながら検討する。

## 新校準備委員会設置要綱

新校準備委員会設置要綱（平成 19 年 3 月 26 日教育長決裁）の全部を改正する。

（設置）

第 1 条 県立高等学校の後期再編整備計画（以下「後期計画」という。）に基づき、新たに設置する高校（以下「新校」という。）の円滑な開校を期するため、新校準備委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

2 委員会は、別表第 1 に掲げる新校ごとにそれぞれ設置するものとする。

（所掌事務）

第 2 条 委員会は次の事項について委員から意見等を聴取する。

一 新校基本計画に関すること。

二 新校の校名に関すること（豊岡高校準備委員会及び本庄高校準備委員会を除く。）。

三 前二号のほか新校の開設準備に関すること。

（委員）

第 3 条 委員会の委員は、別表第 2 に掲げる者の中から教育長が依頼又は任命する。

（委員長及び副委員長）

第 4 条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、別表第 3 に掲げる職にある者をもって充てる。

3 委員長は会務を総理し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する副委員長が、その職務を代理する。

（会議）

第 5 条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて、意見を聴くことができる。

（会議の公開）

第 6 条 委員会の会議は、公開とする。ただし、出席した委員の 3 分の 2 以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。

（設置期間）

第 7 条 委員会の設置期間は、委員会が設置された日から平成 24 年 3 月 31 日までとする。

（委員会の庶務）

第 8 条 委員会の庶務は、埼玉県教育局県立学校部高校改革推進課において処理する。

（委任）

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成 22 年 4 月 27 日から施行する。

別表第 1

幸手新校準備委員会
大井新校準備委員会
豊岡高校準備委員会
本庄高校準備委員会
吉川新校準備委員会

別表第 2

地元関係者	行政関係者
	教育関係者
	産業関係者
学校関係者	地元中学校長
	再編整備対象校 P T A 等関係者
県教育委員会	高校改革推進課を所管する県立学校部副部長 県立学校部高校改革推進課長 後期計画に掲げる対象校校長

別表第 3

	委員会名	委員長	副委員長
1	幸手新校準備委員会	高校改革推進課を所管する 県立学校部副部長	幸手商業高校長 幸手高校長
2	大井新校準備委員会	高校改革推進課を所管する 県立学校部副部長	大井高校長 福岡高校長
3	豊岡高校準備委員会	高校改革推進課を所管する 県立学校部副部長	豊岡高校長 入間高校長
4	本庄高校準備委員会	高校改革推進課を所管する 県立学校部副部長	本庄高校長 本庄北高校長
5	吉川新校準備委員会	高校改革推進課を所管する 県立学校部副部長	吉川高校長 草加高校長



## 豊岡高校準備委員会 委員名簿

(敬称略)

委員長	浅子 藤郎	埼玉県教育局県立学校部副部長
副委員長	成瀬 英二	埼玉県立豊岡高等学校長
副委員長	内川 信	埼玉県立入間高等学校長
委員	田中 一夫	入間市企画部長
委員	関田 恵一	入間市教育委員会教育総務部参事兼学校教育課長
委員	斎藤 里美	東洋大学文学部教授
委員	大室 重喜	入間市立向原中学校長
委員	小林 守利	埼玉県立豊岡高等学校PTA顧問
委員	大野 清恵	埼玉県立豊岡高等学校同窓会常任理事
委員	富山 美和子	埼玉県立入間高等学校PTA副会長
委員	大野 登喜子	埼玉県立入間高等学校PTA副会長
委員	大浜 厚夫	埼玉県教育局県立学校部高校改革推進課長

## 新校基本計画検討委員会設置要綱

### (設置)

第1条 県立高等学校の後期再編整備計画（以下「後期計画」という。）に基づき、新たに設置される高校（以下「新校」という。）の基本計画を検討するため、新校基本計画検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

2 委員会は、別表第1に掲げる新校ごとにそれぞれ設置し、その職務は同表に掲げるとおりとする。

### (委員)

第2条 委員会の委員は、埼玉県教育局職員及び後期計画に掲げる対象校の教職員の中から教育長が任命する。

### (委員長及び副委員長)

第3条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、別表第2に掲げる職にある者をもって充てる。

3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する副委員長が、その職務を代理する。

### (会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて、意見を聴くことができる。

### (会議の公開)

第5条 委員会の会議は、公開とする。ただし、出席した委員の3分の2以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。

### (設置期間)

第6条 委員会の設置期間は、委員会が設置された日から平成23年3月31日までとする。

### (委員会の庶務)

第7条 委員会の庶務は、埼玉県教育局県立学校部高校改革推進課において処理する。

### (委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

## 附 則

この要綱は平成22年4月5日から施行する。

別表第1

	委員会名	職 務
1	幸手新校基本計画検討委員会	幸手商業高校及び幸手高校の統合に関する新校基本計画について検討すること。
2	大井新校基本計画検討委員会	大井高校及び福岡高校の統合に関する新校基本計画について検討すること。
3	豊岡高校基本計画検討委員会	豊岡高校及び入間高校の統合に関する新校基本計画について検討すること。
4	本庄高校基本計画検討委員会	本庄高校及び本庄北高校の統合に関する新校基本計画について検討すること。
5	吉川新校基本計画検討委員会	吉川高校及び草加高校定時制課程の統合に関する新校基本計画について検討すること。

別表第2

	委員会名	委員長	副委員長
1	幸手新校基本計画検討委員会	県立学校部副参事兼 高校改革推進課副課長	幸手商業高校教頭 幸手高校教頭
2	大井新校基本計画検討委員会	県立学校部副参事兼 高校改革推進課副課長	大井高校教頭 福岡高校教頭
3	豊岡高校基本計画検討委員会	県立学校部副参事兼 高校改革推進課副課長	豊岡高校教頭 入間高校教頭
4	本庄高校基本計画検討委員会	県立学校部副参事兼 高校改革推進課副課長	本庄高校教頭 本庄北高校教頭
5	吉川新校基本計画検討委員会	県立学校部副参事兼 高校改革推進課副課長	吉川高校教頭(全・ 定) 草加高校教頭(定)

## 豊岡高校基本計画検討委員会 委員名簿

(敬称略)

委員長	渡邊 秀昭	県立学校部副参事兼高校改革推進課副課長
副委員長	小玉 佳也	豊岡高等学校教頭兼高校改革推進課主任管理主事
副委員長	大塚 教雄	入間高等学校教頭
副委員長	中山 高広	豊岡高等学校事務部長
委員	松本 康二	豊岡高等学校主幹教諭
委員	橋本 浩	豊岡高等学校教諭 (教務)
委員	志磨 哲夫	豊岡高等学校教諭 (進路指導主事)
委員	五十嵐 英男	豊岡高等学校教諭 (生徒指導)
委員	結川 義明	入間高等学校主幹教諭
委員	塩川 忠	入間高等学校教諭 (教務主任)
委員	舩津 忠正	入間高等学校教諭 (教務)
委員	岡部 年男	財務課主幹 (総務・予算総括担当)
委員	市川 雅之	財務課主査 (施設計画・資産活用担当)
委員	神田 剛広	県立学校人事課管理主事 (教員人事担当)
委員	齋藤 潤	県立学校人事課管理主事 (学事担当)
委員	森 孝博	高校教育指導課指導主事 (教育指導担当)
委員	青木 俊憲	生徒指導課指導主事 (非行・中退防止担当)
委員	安藤 龍嗣	高校改革推進課主任管理主事 (改革推進担当)
委員	我妻 英	高校改革推進課管理主事 (改革推進担当)
委員	堀米 俊孝	高校改革推進課主幹 (改革管理担当)
委員	小林 篤弘	高校改革推進課主査 (改革管理担当)

## 豊岡高校準備委員会 開催状況

第1回	平成22年 6月 9日 (水) 15:00~16:15	豊岡高校
(1) 再編整備計画概要説明 (2) 再編対象校概要説明 (3) 豊岡高校基本計画の構成及び内容 (4) 第1回豊岡高校基本計画検討委員会について		
第2回	平成22年 7月12日 (月) 15:00~16:25	豊岡高校
(1) 第2回豊岡高校基本計画検討委員会について (2) 豊岡高校基本計画 (案) について		
第3回	平成22年 8月30日 (月) 15:00~16:35	豊岡高校
(1) 第3回豊岡高校基本計画検討委員会について (2) 豊岡高校基本計画 (案) について		
第4回	平成22年10月22日 (金) 15:00~15:30	豊岡高校
(1) 第4回豊岡高校基本計画検討委員会について (2) 豊岡高校基本計画 (案) について		

## 豊岡高校基本計画検討委員会 開催状況

第1回	平成22年 5月26日(水) 15:00~16:30	豊岡高校
(1) 各対象校で出された意見について (2) 次回までの作業について		
第2回	平成22年 6月28日(月) 15:00~16:30	豊岡高校
(1) 新校基本計画案のたたき台について (2) 次回までの作業について		
第3回	平成22年 8月19日(木) 15:00~16:30	豊岡高校
(1) 新校準備委員会 第2回会議の報告 (2) 新校基本計画案について		
第4回	平成22年 9月21日(火) 15:00~16:30	豊岡高校
(1) 新校準備委員会 第3回会議の報告 (2) 新校基本計画案について (3) 開設準備組織について		

## 豊岡高校準備委員会でいただいた主な意見等

○……意見及び質疑等 ●……応答等

### 第 1 回豊岡高校準備委員会（平成 22 年 6 月 9 日(水)）

発言者	意見及び質疑・応答等の要旨
豊岡高校基本計画（案）について	
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 豊岡高校の卒業生の多くは、入間市役所を中心に地元に残り、地域の中核を担っている。農学校、実業学校を経ているので、地元産業の担い手を育成する使命感がある高校であったと感じている。</p> <p>ここ数年、生徒指導の面で、地域、卒業生、同窓会からの批判が多く寄せられるようになった。しかし、生徒が自分自身のことと捉えて、ここ 3 年間で大幅に改善されてきた。その点が長い歴史のある高校の特徴だと思う。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 平成 24 年度末をもって、入間高校が閉校となるが、その時点で休学や留年した生徒の処遇は決まっているのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 6 月 7 日付けで、県立学校人事課から全県立高校に対して、「県立高等学校後期再編整備計画に伴う原級留置に係る生徒の指導及び転学等の取扱いについて」という通知をしたところである。</p> <p>まずは、原級留置にならないようにきめ細やかに指導することが原則である。</p> <p>もし、原級留置する場合、原則として、当該生徒は統合される学校に転学することになる。その際には、両校の校長が面談し、統合校へ転学する意思があるかどうかを確認する。また、他の学校へ転学する意思があれば、その高校を紹介することになる。</p>

### 第 2 回豊岡高校準備委員会（平成 22 年 7 月 12 日(月)）

発言者	意見及び質疑・応答等の要旨
豊岡高校基本計画（案）について	
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 地元としては、新たな高校の方向性が示されることはありがたいことである。単位制とはどういうものか、説明していただきたい。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 多くの高校で行われている学年制と単位制との相違点は、原級留置がなくなること、選択科目を多く設定できること、進路希望に対応した科目設定が可能となり、教員も多く配置されること、などが挙げられる。</p> <p>新校は、浦和高校や不動岡高校が取り入れている「進学重視型」の単位制を目指している。</p>

委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 「育てたい生徒像」に「積極的に課題解決に取り組む生徒」とあるが、是非そういう生徒を育ててもらいたい。</p> <p>通常の科目だけでなく、1週間に一コマでもいいので、例えば、入間市の問題について生徒が自ら問題提起し、解決策を模索し、入間市に提案する、そういうカリキュラムがあっても良いのではないかと思う。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 学年制では「総合的な学習の時間」の枠組みでしか取り組めないが、単位制であれば、例えば「入間市探求科」という選択科目を設定し、1年間かけて研究し、発表するという取り組みも可能になる。具体的には、基本計画策定後、教育課程を決定していく中で検討していきたい。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 「目指す学校像」にある「希望する大学への進学を実現」という基本方針がしっかり打ち出された事は良いと思う。</p> <p>また、「大学・研究機関と連携して、教育力を地域に還元する」とあるが、具体的にはどういうイメージを持っているのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 例えば、生徒が大学の公開講座を受講した場合に単位を認定するという事を考えている。</p> <p>また、高校が地域住民を対象とした公開講座を設ける、生徒が小・中学校の教育活動やスポーツ活動の手伝いをする、などの取り組みにより、高校の教育力を地域に還元するようにしたい。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 単位制になると、生徒が好きな科目を選択できるようになるのか。</p> <p>また、単位制だと、生徒の年齢に幅が生じるのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 全く自由に科目選択ができるわけではない。1年次生の段階では「必修」の科目が多い。2年次生からは自分の進路希望に応じ、科目選択の幅が広がってくる。さらに3年次生では、選択科目が全体の半分以上を占めるようになる。具体的な科目の設定は学校ごとに異なる。新校の教育課程は、基本計画策定後に検討する。</p> <p>豊岡高校は進学重視型の単位制高校となるが、単位制は履修システムの違いであり、生徒募集の面では通常の高校と差はない。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 単位制というと、大学の履修形態をイメージする保護者が多いだろう。学校説明会などで、システムをわかりやすく説明した方がよいと思う。</p> <p>学び直しやきめ細やかな指導など、統合される高校の良さを活かして、新校でも引き続き取り組んでいただきたい。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 「教科指導の具現化」に、「英語によるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力」とあるが、英語以外の第2外国語、例えば中国語を選択できるようにしてほしい。</p>



委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 英語が国際語であることには変わりないと考えている。社内での公用語が英語という企業もある。第2外国語を学ぶためにも英語は必要だと思うので、英語教育に力を入れていただきたい。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 「生徒指導の具現化」に「社会性や協調性を養う」とあるが、どのような考え方なのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 具体的な文言として「生徒指導の基本方針」にあるとおり、「奉仕的精神を涵養して、他者を思いやる」ために、勉強だけでなく、「心の教育」という発想で、地域の行事やボランティア活動に参加させるということを考えている。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 勉強以外にも、人間性を養うことに力を入れていただけるとありがたい。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 学校説明会だけでなく、中学校のPTA主催行事等に積極的に向いて行って、新校の魅力をもっとPRした方が良い。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 基本計画において、進学校を目指すということは理解したが、人間性を培うためには、課外活動や学校行事が生徒にとって大きなウェイトを占める。目標の達成のために、行事が削られていくのはどうかと思う。</p>

## 第3回豊岡高校準備委員会（平成22年8月30日(月)）

発言者	意見及び質疑・応答等の要旨
豊岡高校基本計画（案）について	
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 「施設・設備の整備等」に、「必要な改修や整備に努める」とあるが、校舎の耐震工事については、どのような計画になっているのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 校舎の耐震工事は既に完了している。ここでいう「必要な改修や整備」とは、講義室の増設など、新校の開設に伴い必要となる改修等に努めるという意味である。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 豊岡高校は農学校から始まり、実業教育を経て、普通科へと転換したという歴史がある。理数系を重視することは、従来の豊岡高校が培ってきた精神が排除されてしまうのではないかと、という危機感を持つ。豊岡高校の歴史を振り返ると寂しい感じがする。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 決してこれまでの歴史を軽視するものではない。単位制の導入により、生徒の学習における選択肢が広がる。これまで豊岡高校が培ってきた教育に加えて、理数教育と外国語教育を充実させていこう、という意味である。</p> <p>このような考え方を、今後、学校説明会等において、丁寧に説明していく。</p>

委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 生徒にとって、様々な選択科目があることは魅力的だと思う。単に進学のためではなく、自律的に意欲を持って学習に取り組む生徒が多くなることを期待する。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 学習を通して人間を磨くということが教育の根幹である。あくまでも大学進学は過程であり、生徒が互いに切磋琢磨して、人間を磨き高める新校を目指している。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 部活動についてはどう考えているのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 生徒が成長していく上で、部活動も重要であり、一所懸命取り組んで欲しい。ただ、根幹は勉強であることを忘れてはいけない。文武両道を目指したい。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 勉強も大切だが、チームワークや協調性も大切である。スポーツの中から友達関係や協調性を育てていただけたら嬉しい。勉強もスポーツもできることは素晴らしいことなので、新校に期待したい。</p> <p>また、保護者が高校に足を運び、教員と保護者が上手に連携する高校になるように希望する。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 地域活動への参加など、生徒ができるだけ多くの人と接する機会を設けたい。社会においては、「チームで働く力」が求められている。部活動、学校行事とともに、授業を工夫することにより、社会人基礎力を育成していく。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 「生徒指導の具現化」に、「社会体験」、「社会のリーダー」という文言があり、リーダーとなる生徒を育成することは、地域社会としてはありがたいことである。</p> <p>また、「日本人としての自覚を身に付けさせる教育をする」という意味を含んだ文言を盛り込んでいただきたい。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 地域社会に貢献する人材の育成はもちろんであるが、活動範囲の広がりも意識して、文言の中にはあえて「地域」を入れなかった。</p> <p>「国際社会の一員として活躍できる日本人」を育成するために、大学や研究機関などとの連携を図り、教育内容を充実させていきたい。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 「生徒指導の具現化」にある「社会体験、地域活動、ボランティア活動に積極的に参加し、社会性や協調性を養う」という文言は良いが、高校になると地域の範囲が広くなり、地元との関係が薄くなる。地域は受け入れたいのに、高校側が閉鎖的であるというイメージがある。</p> <p>計画案に盛り込む活動については、是非、高校側が主導して積極的に取り組んでいただきたい。</p>

委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 学習時間を確保し、部活動、生徒会活動をする中で、かつ地域活動を行うためには、カリキュラム編成上、時間数を確保することは厳しいだろうと感じる。例えば、インターンシップのように、計画化、組織化されていれば、コーディネートが簡単であるが、バラバラに対応するとなると教員の負担が大きくなる。</p> <p>地域という視点をもっと広いスケールで考えるべきである。例えば留学。海外に出ると強烈に日本を意識せざるを得ず、いかに自国のことを知らないかを思い知る。</p> <p>地域の中でしか地域を意識できない訳ではない。歴史的視点もあっていいし、時間を越えてもいい。他県の高校との交流も、地域を考えるきっかけになる。</p> <p>あまり内容を限定することなく、教員の裁量に任せ、負担の少ない範囲で現実的な対応を考えるべきである。</p>
委員	<p>【意見等】</p> <p>○ 「制服」については、新校になるのを機に、気分を一新するために変えた方が良くと思う。</p>

## 第4回豊岡高校準備委員会（平成22年10月22日(金)）

発言者	意見及び質疑・応答等の要旨
豊岡高校基本計画（案）について	
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 「生徒募集」に、「小学校・中学校との交流」とあるが、具体的な取り組みが決まっているのか。また、生徒を含めた交流を目的としているのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 高校生と小・中学生とが実際に交流する取り組みを考えている。</p> <p>具体的な取組方法はこれからの検討課題であるが、例えば、中学生とは部活動の合同練習や補習授業の補助、小学生とは体育実技の模範演技などの取り組みを通じて交流していきたいと考えている。</p>
委員	<p>【意見及び質疑等】</p> <p>○ 学校要覧に教育目標等の内容が掲げられているという説明があったが、今年創立90周年を迎えるということで、豊岡高校の校訓を遡って調べてみたところ、あやふやな部分が多いと感じた。新校開校を機に、教育目標・校訓を新たに考えていただきたい。</p> <p>施設の改修についてだが、新校になることにより予算が多く確保できるのか。</p>
事務局	<p>【応答等】</p> <p>● 教育目標・校訓については、今後、新校で検討していく。</p> <p>「施設・設備の整備等」に記載のある、平成24年度から26年度を目途に必要な改修や整備に努めるということは、豊岡高校が新校としての教育活動を展開するために、必要となる部分を整備していこうという趣旨である。</p>